

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2007年8月10日設定）	
運用方針	<p>主として、三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド受益証券、日本債券マザーファンド受益証券、外国株式マザーファンド受益証券、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券への投資を通じて国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行うバランス型運用部分と、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じてわが国の短期公社債に投資を行う安定運用部分に、それぞれ投資を行います。バランス型運用部分における各資産への配分比率は、国内株式20%程度、国内債券40%程度、外国株式20%程度、外国債券20%程度とすることを基本とします。わが国の短期金利水準の変動に応じて、バランス型運用部分と安定運用部分への配分比率を変動させるものとし、当該短期金利水準の上昇に伴い安定運用部分への配分比率を引き上げ、当該短期金利水準の低下に伴い安定運用部分への配分比率を引き下げます。なお、安定運用部分への配分比率は以下の範囲内とします。</p> <p>下限：短期金利水準が0%以下のとき、純資産総額に対して5%程度            上限：短期金利水準が4%以上のとき、純資産総額に対して80%程度</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p>	
主要運用対象	ベビードファンド	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド受益証券、日本債券マザーファンド受益証券、外国株式マザーファンド受益証券、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券およびマネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、内外の株式・公社債等に直接投資することがあります。
	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	外国株式マザーファンド	外国の株式を主要投資対象とします。
	日本債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
	ベビードファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	外国株式マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	日本債券マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
	マネー・マーケット・マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）         </div>		

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ DC金利連動アロケーション型 バランスファンド

愛称：DCオートマくん

第13期（決算日：2020年7月22日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド」は、去る7月22日に第13期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率					
	円	円	%			%	%	%	%	百万円
9期(2016年7月22日)	12,241	0	△7.4	12,212	△6.0	37.8	—	56.5	—	5,370
10期(2017年7月24日)	13,252	0	8.3	13,169	7.8	37.2	—	55.7	—	6,318
11期(2018年7月23日)	13,670	0	3.2	13,653	3.7	37.8	—	55.5	—	7,011
12期(2019年7月22日)	13,650	0	△0.1	13,612	△0.3	37.6	—	54.1	—	7,612
13期(2020年7月22日)	14,198	0	4.0	14,048	3.2	38.1	—	54.7	—	8,343

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 当ファンドの参考指数は、東証株価指数(TOPIX)20%、NOMURA-BPI総合40%、MSCI Kokuai Index (MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)20%およびFTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)20%で組み合わせたバランス型運用部分の合成指数と、安定運用部分の無担保コール翌日物レートに弊社で算出した配分比率を乗じた合成指数です。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率	合 成 指 数	騰 落 率				
(期 首) 2019年7月22日	13,650	—	13,612	—	37.6	—	54.1	—
7月末	13,732	0.6	13,676	0.5	37.4	—	54.4	—
8月末	13,601	△0.4	13,548	△0.5	37.4	—	55.4	—
9月末	13,789	1.0	13,718	0.8	37.3	—	55.3	—
10月末	14,007	2.6	13,937	2.4	38.1	—	54.7	—
11月末	14,121	3.5	14,072	3.4	37.9	—	55.0	—
12月末	14,270	4.5	14,179	4.2	37.9	—	55.1	—
2020年1月末	14,188	3.9	14,162	4.0	37.2	—	55.8	—
2月末	13,816	1.2	13,755	1.1	35.3	—	57.5	—
3月末	13,239	△3.0	13,128	△3.6	36.7	—	54.7	—
4月末	13,613	△0.3	13,457	△1.1	38.0	—	54.5	—
5月末	13,946	2.2	13,759	1.1	38.2	—	53.9	—
6月末	13,992	2.5	13,829	1.6	36.8	—	55.0	—
(期 末) 2020年7月22日	14,198	4.0	14,048	3.2	38.1	—	54.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第13期：2019年7月23日～2020年7月22日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第13期首	13,650円
第13期末	14,198円
既払分配金	0円
騰落率	4.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ4.0%の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

米中通商協議進展への期待や新型コロナウイルス感染拡大後の欧米での大規模な経済対策や金融緩和政策などを背景に内外株式市況が上昇したことや、欧米長期金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

2020年2月から3月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に、内外株式市況が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

基準価額の主な変動要因の内訳は以下の通りです。

**内訳**

三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	3.3%程度
外国株式マザーファンド	0.5%程度
日本債券マザーファンド	△0.5%程度
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	1.6%程度
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%程度
その他（信託報酬等）	△0.9%程度

第13期：2019年7月23日～2020年7月22日

## 投資環境について

### ▶ 国内株式市況

#### 国内株式市況は上昇しました。

期首から2020年2月上旬にかけては、米中貿易問題への過度な懸念が後退したことなどを受けて、国内企業への過度な業績不安が後退し、上昇しました。

2月中旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスが世界的に拡大し、消費の減速など世界経済へ与える影響が懸念され下落しました。

3月下旬からは、日本を含む各国が積極的な金融政策や財政政策を打ち出したこと、欧米で徐々に経済活動再開の動きが出始めたこと、日本においても緊急事態宣言が解除されたことなどを受け、上昇しました。

### ▶ 外国株式市況

#### 外国株式市況は上昇しました。

期首から2020年2月中旬にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が後退したことや英国の欧州連合（EU）離脱への政治的不透明感が払拭されたことなどを背景に上昇しました。2月下旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気減速懸念などを受けて下落しました。その後は、各国中央銀行による積極的な金融緩和や各国政府による支援策が好感されたことに加え、欧米の経

済活動再開への期待が高まったことなどから上昇しました。

### ▶ 国内債券市況

#### 国内金利は上昇しました。

国内金利は2019年9月初旬にかけて、米中通商協議に対する不透明感の強まりや、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和観測の高まりなどから、低下しました。その後は、日銀による政策金利引き下げ観測の後退や、大型補正予算に伴う国債増発による需給悪化懸念などを背景に、国内金利は上昇しました。

### ▶ 外国債券市況

#### 欧米長期金利は低下しました。

期首から2019年8月下旬にかけて、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国のEU離脱への不透明感、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和観測の高まりなどから、欧米長期金利は低下しました。12月にかけては、米中貿易摩擦や英国のEUからの合意なき離脱に対する懸念が後退し、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから欧米長期金利は上昇しました。2020年3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの拡散により世界経済の減速懸念が高まり、投資家のリスクセンチメントが悪化したことや、米連邦

公開市場委員会（FOMC）で、政策金利の誘導目標レンジの引き下げが決定されたことなどから米国やドイツの長期金利は低下しました。その後、世界的に保有資産の資金化の動きが強まったことや、大規模な財政拡大による国債の需給悪化が懸念されたことなどから、欧米長期金利は上昇する局面もありましたが、期を通じてみると、欧米長期金利は低下しました。

### ▶ 為替市況

**米ドルは対円で下落、ユーロは対円で上昇しました。**

期首から2019年8月下旬にかけては、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国のEU離脱への不透明感などにより、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどを受けて、米ドル・ユーロは対円で下落しました。12月にかけては、米中貿易摩擦や英国のEUからの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景

に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから米ドル・ユーロは上昇しました。その後、新型コロナウイルスの拡散による金融市場の混乱や、投資家のリスクセンチメント悪化などから、米ドル・ユーロは対円で乱高下する局面もありましたが、期末にかけては米ドルは対円で概ね横ばいで推移した一方、ユーロは欧州復興基金への期待感などから対円で上昇基調で推移しました。結果、期を通じてみると、米ドルは対円で下落、ユーロは対円で上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年7月22日のコール・レートは-0.028%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド

内外の株式や債券を実質的な主要投資対象とし、わが国の短期金利水準の変動に応じて投資配分比率を変動させることにより、安定した収益の確保と着実な値上

がり益の獲得をめざした運用を行いました。

主として、各マザーファンドへの投資を通じて国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行うバランス型運用部分とマネー・マーケット・マザー

ファンドへの投資を通じてわが国の短期公社債に投資を行う安定運用部分に、それぞれ投資を行いました。

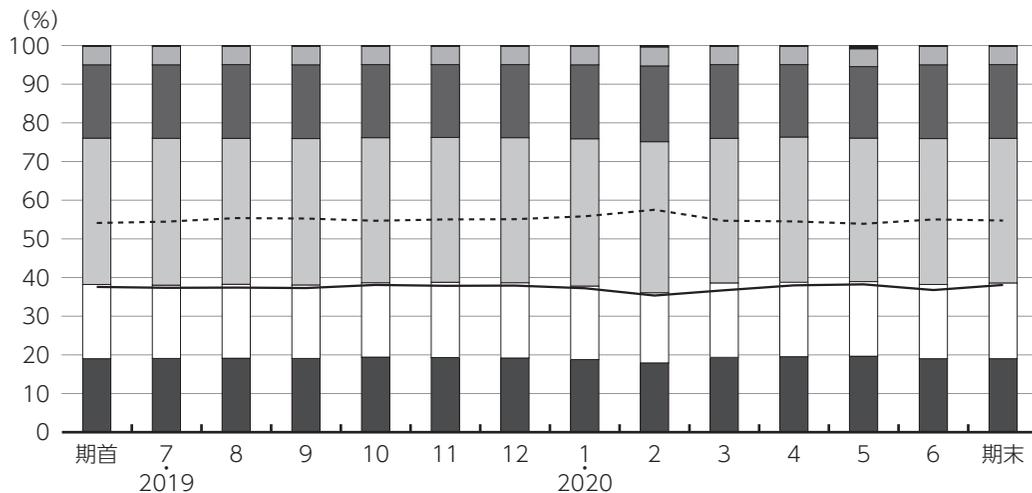
資産配分比率は、国内の短期金利水準に応じて、当期は国内短期金利が低水準であったことから安定運用部分に5%程度配分しました。残りをバランス型運用部分に配分し、その内訳は従前通り基本の配分比率としました。

バランス型運用部分における各資産への配分比率は、以下の比率とすることを基本とします。

- 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド 20%程度
- 外国株式マザーファンド 20%程度
- 日本債券マザーファンド 40%程度
- 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド 20%程度

(ご参考)

■資産別組入比率の推移 (月末ベース)



- 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド
- 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド
- 外国株式マザーファンド
- マネー・マーケット・マザーファンド
- 日本債券マザーファンド
- コールその他資産
- 株式実質
- 債券実質

### ▶三菱UFJ 日本株アクティブマ ザーファンド

個別銘柄の選別においては競争力の有無や収益向上への取り組みなどを重視し、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に投資を行いました。

組入銘柄数は概ね75～82銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相对比较などを勘案し、適宜銘柄の入れ替えを行いました。当期では、「本田技研工業」や「SUMCO」など17銘柄を新規に組み入れました。また、「東レ」や「ファンケル」など20銘柄を全株売却しました。

### ▶外国株式マザーファンド

中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。

配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に組み入れを行いました。外国株式の組入比率については、期を通じて高位を維持し、組入銘柄数については、期中において銘柄入替を実施したことから期首の53銘柄から期末に52銘柄としました。

銘柄入替については、今後の成長性に対する確信度が低下したと判断した銘柄などを売却し、成長性、キャッシュ創出力などが評価できる銘柄を購入しました。

### ▶日本債券マザーファンド

ベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については中立を基本に調整しましたが、2019年10月上旬から11月末にかけての期間は日銀による国債買入れオペの運営に不透明感が高まったと判断し、ベンチマーク対比短めとしました。年限別構成については、中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しましたが、デュレーションを短めとした期間については超長期ゾーンをベンチマーク並みとしました。

債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債のスプレッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的にスプレッド妙味のある事業債および円建外債のオーバーウェイト、スプレッド妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

### ▶三菱UFJ 海外債券アクティブマ ザーファンド

わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行い

ました。期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。

債券デュレーションは、金融政策の織り込み具合等を注視しコントロールしました。米国の債券デュレーションは期を通じてベンチマーク比中立から長めでコントロールしました。欧州の債券デュレーションは期首から2019年12月下旬にかけて同中立から長め、2020年1月上旬から3月下旬にかけて同中立から短め、4月上旬以降は同中立から長めでコントロールしました。

欧州においては、緩和的なECBの金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。期を通じてスペインをベンチマーク比オーバーウェイトで維持、イタリア、アイルランドは同中立からオーバーウェイトでコントロールした一方、ドイツ、フランス、オランダは同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。

カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは期首から2019年12月上旬にかけてベンチマーク比中立からオーバーウェイトでコントロールし、12月中旬から2020年2月下旬にかけては同アンダーウェイト、

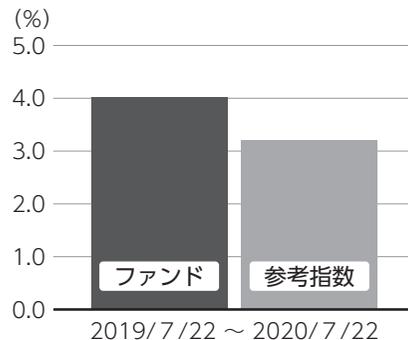
2月下旬から6月上旬にかけては同オーバーウェイトとし、その後は同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。ユーロは期首から2019年12月下旬にかけて同中立からアンダーウェイトでコントロールし、2020年1月から2月中旬にかけては同オーバーウェイト、2月下旬から6月下旬にかけては同アンダーウェイト、その後は同オーバーウェイトとしました。英ポンドは期首から2019年10月下旬にかけては同中立からアンダーウェイト、11月上旬から2020年5月中旬にかけては同中立からオーバーウェイトでコントロールし、5月下旬以降は同アンダーウェイトとしました。豪ドルは期首から2020年4月中旬まで同中立からアンダーウェイトでコントロールし、4月下旬以降は同オーバーウェイトとしました。カナダドル、メキシコペソ、ノルウェークローネは期を通じて同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。

- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は合成指数です。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第13期 2019年7月23日～2020年7月22日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	5,369

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド

引き続き、国内の短期金利水準に応じて、安定運用部分とバランス型運用部分の配分比率を変更する方針です。バランス型運用部分における各資産への配分比率は従前通り基本の配分比率を維持する方針です。

### ▶ 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

個別銘柄の選別においては、競争力の有無、収益力向上への取り組み等を重視しています。増配や自社株買い等の株主還元への姿勢も大切な投資観点と考えますが、それ以上に各企業がどのような成長戦略や収益力向上への取り組みを行っているかが重要と考えています。引き続き、マネジメント力、バリュエーション、中長期的な成長や収益力改善のためにどのような施策に取り組んでいるのかなどを精査し、競争力があり、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。

国内株式市況は、中長期的には堅調に推移すると考えます。新型コロナウイルス感染第二波への警戒はあるものの、各国が実施している経済対策の効果により、個人や企業の活動も正常化され、企業業

績も回復してくると思われます。同時に、今回の感染拡大をきっかけとした非接触、在宅ワークなどを背景に経済活動が変化してきていることから、これまでの社会やビジネス構造も変化していく可能性があると考えます。このため、投資環境の変化を注意深く観察しながら、多様化する物色動向などに対してより柔軟に対応出来るよう機動的にポートフォリオを管理し、パフォーマンスの向上に努める所存です。

### ▶ 外国株式マザーファンド

株式市況は、新型コロナウイルスの世界的な拡大による影響などから不透明な状況が続く可能性があるかとみています。一方で、各国の財政政策や金融政策などにより景気が下支えられ、株式市況は、長期的には概ね堅調に推移すると予想しています。

配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に投資していく方針です。健全な財務体質や持続可能なビジネスモデル、積極的な配当政策などの観点から銘柄を選択し、業種、地域にとらわれることなく投資機会を最大限に活かして投資していく方針です。

### ▶ 日本債券マザーファンド

安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。

ファンド全体のデュレーションは、当面ベンチマーク対比中立を基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。

債券種別構成については、事業債および円建外債をベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

### ▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重

視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2019年7月23日～2020年7月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	91	0.658	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(42)	(0.301)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(42)	(0.301)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 8 )	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.017	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 2 )	(0.017)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 1 )	(0.006)	
(d) その他費用	2	0.017	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	96	0.698	

期中の平均基準価額は、13,828円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

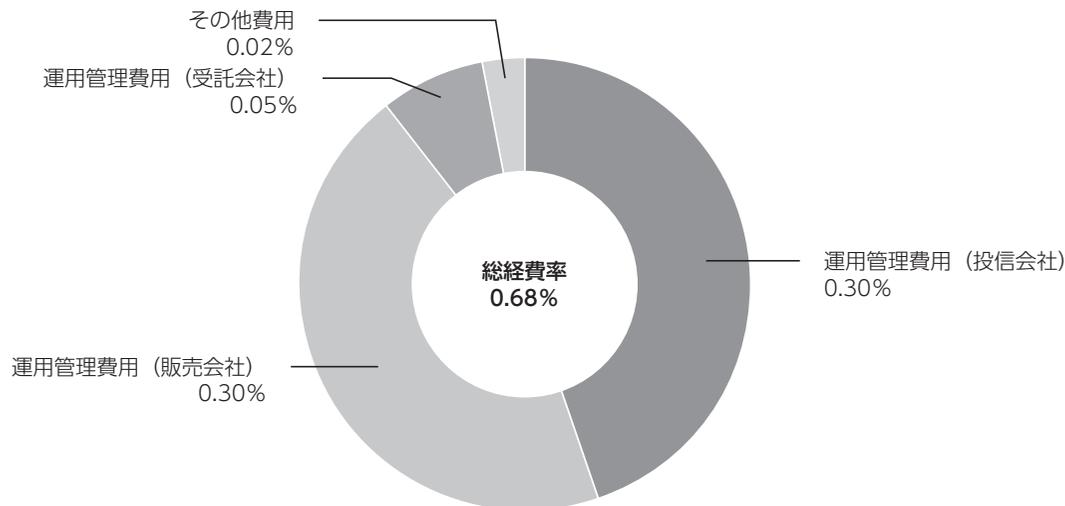
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.68%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年7月23日～2020年7月22日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	180,359	331,087	212,205	430,076
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	65,493	201,018	56,535	173,872
日本債券マザーファンド	485,004	728,004	300,023	452,907
外国株式マザーファンド	179,860	400,684	111,105	268,047
マネー・マーケット・マザーファンド	74,949	76,317	45,627	46,459

## ○株式売買比率

(2019年7月23日～2020年7月22日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	三菱UFJ 日本株 アクティブマザーファンド	外国株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	29,444,172千円	8,446,413千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	32,463,976千円	9,483,129千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90	0.89

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月23日～2020年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド&gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 13,531	百万円 3,350	% 24.8	百万円 15,912	百万円 3,596	% 22.6

平均保有割合 4.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## &lt;三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド&gt;

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 34,388	百万円 5,884	% 17.1	百万円 34,532	百万円 6,171	% 17.9

平均保有割合 3.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## &lt;日本債券マザーファンド&gt;

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,199	百万円 1,060	% 25.2	百万円 3,944	百万円 1,011	% 25.6

平均保有割合 36.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

## &lt;外国株式マザーファンド&gt;

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5,608	百万円 559	% 10.0	百万円 4,803	百万円 219	% 4.6

平均保有割合 15.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## &lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

該当事項はございません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

## &lt;三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド&gt;

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
株式	百万円 455	百万円 27	百万円 911

## &lt;日本債券マザーファンド&gt;

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
公社債	百万円 300	百万円 403	百万円 298

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

## &lt;日本債券マザーファンド&gt;

種 類	買 付 額
公社債	百万円 1,200

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,325千円
うち利害関係人への支払額 (B)	246千円
(B) / (A)	18.6%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱UFJリース、アコム、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	748,815	716,968	1,588,157
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	484,612	493,570	1,592,307
日本債券マザーファンド	1,913,581	2,098,562	3,121,822
外国株式マザーファンド	592,993	661,748	1,630,945
マネー・マーケット・マザーファンド	357,458	386,780	393,820

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	1,588,157	19.0
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	1,592,307	19.0
日本債券マザーファンド	3,121,822	37.3
外国株式マザーファンド	1,630,945	19.5
マネー・マーケット・マザーファンド	393,820	4.7
コール・ローン等、その他	44,428	0.5
投資信託財産総額	8,371,479	100.0

(注) 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (46,388,421千円) の投資信託財産総額 (47,575,291千円) に対する比率は97.5%です。

(注) 外国株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (10,306,755千円) の投資信託財産総額 (10,421,185千円) に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.89円	1 カナダドル=79.47円	1 メキシコペソ=4.79円	1 ユーロ=123.28円
1 イギリスポンド=136.15円	1 スイスフラン=114.62円	1 スウェーデンクローネ=12.06円	1 ノルウェークローネ=11.73円
1 デンマーククローネ=16.57円	1 ポーランドズロチ=27.81円	1 オーストラリアドル=76.23円	1 シンガポールドル=77.26円
1 マレーシアリンギット=25.12円	1 ニュー台湾ドル=3.62円	1 イスラエルシェケル=31.27円	

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,371,479,535
コール・ローン等	44,275,183
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド(評価額)	1,588,157,905
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド(評価額)	1,592,307,425
日本債券マザーファンド(評価額)	3,121,822,104
外国株式マザーファンド(評価額)	1,630,945,986
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	393,820,364
未収入金	150,568
(B) 負債	28,088,166
未払解約金	1,629,010
未払信託報酬	26,301,375
未払利息	35
その他未払費用	157,746
(C) 純資産総額(A-B)	8,343,391,369
元本	5,876,461,791
次期繰越損益金	2,466,929,578
(D) 受益権総口数	5,876,461,791口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,198円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 5,576,449,166円  
 期中追加設定元本額 1,068,167,589円  
 期中一部解約元本額 768,154,964円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.4198円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2019年7月23日～ 2020年7月22日
費用控除後の配当等収益額	117,864,918円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	122,076,697円
収益調整金額	1,905,923,128円
分配準備積立金額	1,009,723,812円
当ファンドの分配対象収益額	3,155,588,555円
1万口当たり収益分配対象額	5,369円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

- ③「外国株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、親投資信託の純資産総額に親投資信託の受益権総口数に占める当投資信託に属する受益権口数の割合に乗じて得た額に対し年10,000分の45の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ○損益の状況 (2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 12,553
受取利息	308
支払利息	△ 12,861
(B) 有価証券売買損益	354,615,864
売買益	423,295,926
売買損	△ 68,680,062
(C) 信託報酬等	△ 52,648,465
(D) 当期損益金(A+B+C)	301,954,846
(E) 前期繰越損益金	947,710,581
(F) 追加信託差損益金	1,217,264,151
(配当等相当額)	( 1,904,426,715)
(売買損益相当額)	(△ 687,162,564)
(G) 計(D+E+F)	2,466,929,578
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	2,466,929,578
追加信託差損益金	1,217,264,151
(配当等相当額)	( 1,905,923,128)
(売買損益相当額)	(△ 688,658,977)
分配準備積立金	1,249,665,427

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

## 《第19期》決算日2020年6月22日

[計算期間：2019年6月21日～2020年6月22日]

「三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド」は、6月22日に第19期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の株式を主要投資対象とし、長期的に安定した信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により長期的にわが国の株式市場全体(TOPIX)の動きを上回る運用成果をめざします。株式への投資にあたっては、運用チームによる会社訪問も含め、自ら徹底的に企業分析を行います。 銘柄選定は、主に以下の観点で行います。 ①オーナーの持ち分としての株主価値の見極め。 ②株主価値を分析する尺度としては、主に企業が事業から継続してキャッシュを生み出す能力を評価。 ③株主価値と株価との関係がバーゲン(株主価値>株価)と判断される銘柄に投資。
主要運用対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		東証株価指数 (TOPIX)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資 産額
	円	騰落率	(TOPIX)	騰落率			
15期(2016年6月20日)	14,735	△19.6	1,279.19	△22.4	98.5	—	31,732
16期(2017年6月20日)	18,525	25.7	1,617.25	26.4	98.1	—	34,818
17期(2018年6月20日)	22,019	18.9	1,752.75	8.4	98.1	—	36,701
18期(2019年6月20日)	19,301	△12.3	1,559.90	△11.0	98.4	—	32,406
19期(2020年6月22日)	21,875	13.3	1,579.09	1.2	98.5	—	33,357

(注) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		東 証 株 価 指 数 (TOPIX)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率 %		騰 落 率 %	%	%
(期 首) 2019年6月20日	19,301	—	1,559.90	—	98.4	—
6月末	19,184	△ 0.6	1,551.14	△ 0.6	98.3	—
7月末	19,676	1.9	1,565.14	0.3	98.4	—
8月末	19,051	△ 1.3	1,511.86	△ 3.1	98.1	—
9月末	20,175	4.5	1,587.80	1.8	97.8	—
10月末	21,141	9.5	1,667.01	6.9	98.3	—
11月末	21,516	11.5	1,699.36	8.9	98.2	—
12月末	22,043	14.2	1,721.36	10.4	98.2	—
2020年1月末	21,341	10.6	1,684.44	8.0	98.2	—
2月末	19,493	1.0	1,510.87	△ 3.1	97.9	—
3月末	18,219	△ 5.6	1,403.04	△ 10.1	95.9	—
4月末	19,843	2.8	1,464.03	△ 6.1	98.0	—
5月末	21,620	12.0	1,563.67	0.2	97.7	—
(期 末) 2020年6月22日	21,875	13.3	1,579.09	1.2	98.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

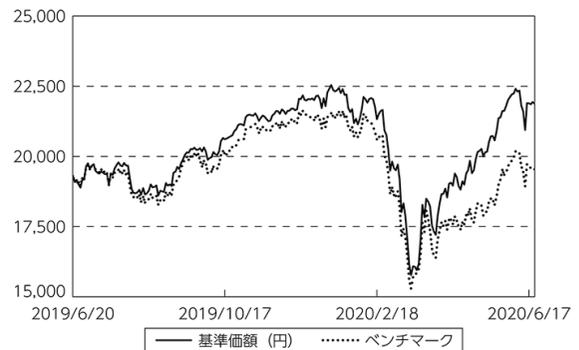
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ13.3%の上昇となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(1.2%)を12.1%上回りました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

### (上昇要因)

- ・日本を含む各国の積極的な金融政策や財政政策に加え、国内外での新型肺炎の感染拡大鈍化、経済活動再開の動きが出始めたことなどを背景に国内株式市況が上昇したことや、個別銘柄の上昇などが、基準価額の上昇要因となりました。

### (下落要因)

- ・新型肺炎拡大による世界経済への悪影響が懸念されたことなどを背景に、日本企業の業績不安などを受けて国内株式市況が一時的に下落したことが、基準価額の一時的な下落要因となりました。

### 銘柄要因

上位5銘柄・・・「第一三共」、「エムスリー」、「トリケミカル研究所」、「東京エレクトロン」、「GMO ペイメントゲートウェイ」

下位5銘柄・・・「アウトソーシング」、「三菱商事」、「資生堂」、「三菱UFJフィナンシャル・グループ」、「本田技研工業」

## ● 投資環境について

### ◎ 国内株式市況

- ・国内株式市況は上昇しました。
- ・期首から2020年2月上旬にかけては、米中貿易問題への過度な懸念が後退したことを受けて、国内企業への過度な業績不安が後退し、上昇しました。
- ・2月中旬から3月中旬にかけては、新型肺炎が世界的に拡大し、消費や世界経済へ与える影響が懸念され下落しました。
- ・3月下旬からは、日本を含む各国が積極的な金融政策や財政政策を打ち出したこと、欧米で徐々に経済活動再開の動きが出始めたこと、日本においても緊急事態宣言が解除されたことなどを受け、上昇しました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・個別銘柄の選別においては競争力の有無や収益向上への取り組みなどを重視し、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に投資を行いました。
- ・組入銘柄数は概ね75～83銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相対比較などを勘案し、適宜銘柄の入れ替えを行いました。当期では、「本田技研工業」、「SUMCO」など18銘柄を新規に組み入れました。また、「スズキ」、「東レ」など22銘柄を全株売却しました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異について プラス要因

業種配分要因：電気機器、精密機器をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

銘柄選択要因：「エムスリー」、「トリケミカル研究所」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

## マイナス要因

業種配分要因：金属製品、保険業をベンチマークに対して概ねオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

銘柄選択要因：「アウトソーシング」、「資生堂」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

## ○今後の運用方針

- ・個別銘柄の選別においては、競争力の有無、収益力向上への取り組み等を重視しています。増配や自社株買い等の株主還元への姿勢も大切な投資観点と考えますが、それ以上に各企業がどのような成長戦略や収益力向上への取り組みを行っているかが重要と考えています。引き続き、マネジメント力、バリュエーション、中長期的な成長や収益力改善のためにどのような施策に取り組んでいるのかなどを精査し、競争力があり、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。
- ・当面の国内株式市況は、米中間の政治対立激化への懸念はありますが、中長期的には堅調に推移すると考えます。新型肺炎感染収束後、第二波への警戒はあるものの、各国が実施している

経済対策の効果により、個人や企業の活動も正常化され、企業業績も回復してくると思われま  
す。同時に、今回の感染拡大をきっかけとした非接触、在宅ワークなどを背景に経済活動が変化してきていることから、これまでの社会やビジネス構造も変化していく可能性があると考え  
ます。このため、投資環境の変化を注意深く観察しながら、多様化する物色動向などに対してより柔軟に対応出来るよう機動的にポートフォリオを管理し、パフォーマンスの向上に努める所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年6月21日～2020年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 15 (15)	% 0.073 (0.073)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	15	0.073	
期中の平均基準価額は、20,276円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年6月21日～2020年6月22日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		7,945 ( 724)	14,557,760 ( - )	5,543	17,183,757

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2019年6月21日～2020年6月22日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	31,741,518千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	32,362,389千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年6月21日～2020年6月22日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 14,557	百万円 4,254	% 29.2	百万円 17,183	百万円 4,162	% 24.2

## 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
株式	百万円 440	百万円 27	百万円 947

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	24,149千円
うち利害関係人への支払額 (B)	6,453千円
(B) / (A)	26.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年6月22日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
<b>建設業 (1.9%)</b>			
大成建設	28.3	—	—
熊谷組	145.6	124.9	325,614
五洋建設	541.4	527.4	302,727
<b>食料品 (3.6%)</b>			
ヤクルト本社	40.8	48.6	325,620
ニチレイ	156.1	164.5	512,417
日清食品ホールディングス	—	35.9	330,639
<b>繊維製品 (—%)</b>			
東レ	685.8	—	—
<b>化学 (8.2%)</b>			
昭和電工	84.9	—	—
住友化学	—	1,820	613,340
信越化学工業	32.2	14.3	176,533
三菱瓦斯化学	—	198.1	328,251
東京応化工業	107	77.2	393,720
宇部興産	129.5	—	—
トリケミカル研究所	69.3	37.8	422,226
資生堂	125.5	108	753,084
ファンケル	173.6	—	—
<b>医薬品 (5.6%)</b>			
日本新薬	43.3	38.3	342,402
エーザイ	26	—	—
JCRファーマ	51.3	39.6	477,576
第一三共	204.4	112.3	1,007,780
<b>ガラス・土石製品 (—%)</b>			
東海カーボン	28.9	—	—
<b>非鉄金属 (2.6%)</b>			
三井金属鉱業	61.6	59.9	135,853
住友金属鉱山	97.1	234.8	706,513
<b>金属製品 (2.0%)</b>			
SUMCO	—	400.2	648,324
<b>機械 (6.5%)</b>			
ツガミ	327.5	344.7	317,124
FUJ I	100.7	163.1	305,486

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
NITTOKU	50	48.6	147,744
SMC	—	10.1	561,863
小松製作所	26.5	—	—
クボタ	182	—	—
ダイフク	60.8	48	434,880
CKD	—	197.6	372,871
<b>電気機器 (18.5%)</b>			
イビデン	—	193	577,649
日立製作所	176.4	129.6	448,416
安川電機	133.8	125.3	464,863
日本電産	33.7	68	462,196
エレコム	92.1	—	—
アンリツ	166.3	152.7	382,666
TDK	18.6	15.5	165,850
横河電機	159.7	—	—
日本光電工業	—	40.6	144,333
アドバンテス	50	64	383,360
キーエンス	9.6	9.4	418,958
レーザーテック	—	25.3	264,385
カシオ計算機	—	173	329,219
ローム	27	—	—
新光電気工業	307.6	177.7	266,550
太陽誘電	96.6	56.2	184,055
村田製作所	60.8	49.9	319,160
小糸製作所	49.6	69	298,425
SCREENホールディングス	—	55.1	286,520
東京エレクトロン	32.6	27.1	679,803
<b>輸送用機器 (8.0%)</b>			
デンソー	58.7	—	—
いすゞ自動車	93.5	318.5	310,346
トヨタ自動車	195.2	87.8	598,620
アイシン精機	70	—	—
本田技研工業	—	434.9	1,239,682
スズキ	119.7	—	—
豊田合成	132.2	207.1	464,939

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
シマノ	11.6	—	—
<b>精密機器 (4.0%)</b>			
テルモ	106.6	—	—
島津製作所	109.5	—	—
オリンパス	—	338.7	642,005
HOYA	46.3	17.7	183,637
朝日インテック	115	160	496,000
<b>その他製品 (2.7%)</b>			
ヤマハ	62.4	60.7	313,212
任天堂	10.1	11.5	576,725
<b>陸運業 (2.1%)</b>			
東海旅客鉄道	11.7	—	—
セイノーホールディングス	194.4	204.9	296,080
日立物流	103	50.3	144,914
丸和運輸機関	89.6	—	—
SGホールディングス	111.6	73.7	257,950
<b>空運業 (—%)</b>			
日本航空	35	—	—
<b>情報・通信業 (12.6%)</b>			
T I S	82.3	150	332,550
GMOペイメントゲートウェイ	56.9	28	318,920
インターネットイニシアティブ	—	72.9	275,562
Zホールディングス	1,116.5	1,144.5	616,885
ネットワンシステムズ	—	90	314,550
日本ユニシス	166.7	141.2	478,668
KDDI	188.2	183.6	581,461
スクウェア・エニックス・ホールディングス	74.6	62.2	348,942
ソフトバンクグループ	108.2	160.5	884,676

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
<b>卸売業 (2.9%)</b>			
伊藤忠商事	—	105.9	246,852
三菱商事	322.5	302.3	700,580
<b>小売業 (4.9%)</b>			
スシローグローバルホールディングス	—	159	394,002
パン・パシフィック・インターナショナルホ	39.7	165.8	388,801
丸井グループ	135.3	131.8	271,244
ファーストリテイリング	7.4	9	564,390
<b>銀行業 (5.7%)</b>			
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1,359.1	2,165.7	947,493
三井住友フィナンシャルグループ	158.5	199.3	620,819
ふくおかフィナンシャルグループ	128.7	170.3	299,046
<b>証券・商品先物取引業 (0.7%)</b>			
SBIホールディングス	109.1	106.3	244,277
<b>保険業 (3.3%)</b>			
第一生命ホールディングス	199.2	444	607,170
東京海上ホールディングス	88.2	102.9	485,070
<b>不動産業 (1.6%)</b>			
オープンハウス	—	42	149,310
パーク24	122.7	—	—
三井不動産	171.1	189.3	390,052
<b>サービス業 (2.6%)</b>			
エムスリー	300.2	115.7	520,650
アウトソーシング	448.3	487.3	333,313
合 計	株 数・金 額	12,054	32,858,402
	銘柄数<比率>	81	<98.5%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	32,858,402	97.1
コール・ローン等、その他	997,211	2.9
投資信託財産総額	33,855,613	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	33,855,613,782
コール・ローン等	313,666,493
株式(評価額)	32,858,402,850
未収入金	480,344,939
未収配当金	203,199,500
(B) 負債	498,263,494
未払金	466,399,813
未払解約金	31,863,195
未払利息	486
(C) 純資産総額(A-B)	33,357,350,288
元本	15,248,756,573
次期繰越損益金	18,108,593,715
(D) 受益権総口数	15,248,756,573口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,875円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 16,790,304,024円  
 期中追加設定元本額 1,810,411,914円  
 期中一部解約元本額 3,351,959,365円  
 また、1口当たり純資産額は、期末21,875円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 日本株アクティブオープン(確定拠出年金)	8,497,030,439円
三菱UFJ 日本株アクティブオープン	3,309,163,794円
三菱UFJ バランスインカムオープン(毎月決算型)	2,532,572,641円
三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	716,710,661円
三菱UFJ 日本株アクティブファンドVA(適格機関投資家限定)	193,279,038円
合計	15,248,756,573円

## ○損益の状況 (2019年6月21日～2020年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	672,786,289
受取配当金	672,820,558
受取利息	3,916
その他収益金	168,106
支払利息	△ 206,291
(B) 有価証券売買損益	3,580,582,228
売買益	6,188,359,647
売買損	△ 2,607,777,419
(C) 保管費用等	△ 1,054
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,253,367,463
(E) 前期繰越損益金	15,616,068,891
(F) 追加信託差損益金	1,625,515,295
(G) 解約差損益金	△ 3,386,357,934
(H) 計(D+E+F+G)	18,108,593,715
次期繰越損益金(H)	18,108,593,715

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 外国株式マザーファンド

### 《第22期》決算日2020年7月22日

[計算期間：2019年7月23日～2020年7月22日]

「外国株式マザーファンド」は、7月22日に第22期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目標として運用を行います。運用にあたってはMSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (円換算ベース) をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざします。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント (UK) リミテッドに委託します。
主 要 運 用 対 象	外国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 中 率 %	(円換算ベース)	騰 落 中 率 %			
18期(2016年7月22日)	18,734	△24.3	181,837.90	△17.7	95.9	—	百万円 6,446
19期(2017年7月24日)	23,301	24.4	219,103.54	20.5	96.9	—	8,027
20期(2018年7月23日)	23,603	1.3	239,975.41	9.5	98.8	—	8,702
21期(2019年7月22日)	24,578	4.1	241,418.44	0.6	98.4	—	9,492
22期(2020年7月22日)	24,646	0.3	253,429.56	5.0	98.8	—	10,409

(注) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (米ドルベース) をもとに委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Indexに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I K o k u s a i I n d e x (MSCIコクサイインデックス)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率	(円換算ベース)		
(期 首) 2019年7月22日	円	%	241,418.44	%	%	%
7 月 末	24,578	—	243,975.35	—	98.4	—
8 月 末	24,770	0.8	243,975.35	1.1	98.1	—
9 月 末	23,512	△ 4.3	231,442.66	△ 4.1	97.3	—
10 月 末	24,283	△ 1.2	238,499.42	△ 1.2	98.0	—
11 月 末	25,139	2.3	247,419.89	2.5	98.5	—
12 月 末	25,985	5.7	256,358.13	6.2	97.2	—
2020年1月末	26,822	9.1	263,734.91	9.2	98.1	—
2 月 末	26,534	8.0	263,861.51	9.3	98.7	—
3 月 末	24,522	△ 0.2	242,699.98	0.5	98.2	—
4 月 末	21,258	△13.5	206,015.08	△14.7	94.2	—
5 月 末	22,807	△ 7.2	225,551.49	△ 6.6	97.8	—
6 月 末	23,536	△ 4.2	234,649.82	△ 2.8	98.8	—
7 月 末	23,617	△ 3.9	238,817.45	△ 1.1	94.9	—
(期 末) 2020年7月22日	24,646	0.3	253,429.56	5.0	98.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.3%の上昇となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(5.0%)を4.7%下回りました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

### (上昇要因)

保有した株式（ABBVIE INC、SANOFIなど）が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

### (下落要因)

米ドルが円に対して下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## ● 投資環境について

### ◎ 外国株式市況

- ・ 外国株式市況は上昇しました。
- ・ 期首から2020年2月中旬にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が後退したことや英国の欧州連合（EU）離脱への政治不透明感が払拭されたことなどを背景に上昇しました。2月下旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気減速懸念などを受けて下落しました。その後は、各国中央銀行による積極的な金融緩和や各国政府による支援策が好感されたことに加え、欧米の経済活動再開への期待が高まったことなどから上昇しました。

### ◎ 為替市況

- ・ 米ドルは円に対して下落しました。
- ・ 期首から2020年2月中旬にかけては、米中貿易摩擦への警戒感などから下落する局面があったものの、米国の一部経済指標が市場予想を上回ったことなどを受け、米ドルは対円で上昇基調で推移しました。2月下旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染が拡大したことなどから一時米ドルは対円で下落しました。その後は景気回復への楽観的な見方が広まったことなどが上昇要因となった一方、日米金利差が縮小するとの見方などが下落要因となり、一進一退の動きとなりました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ 配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に組み入れを行いました。外国株式の組入比率については、期を通じて高位を維持し、組入銘柄数については、期中において銘柄入替を実施したことから期首の53銘柄から期末に52銘柄としました。
- ・ 銘柄入替については、今後の成長性に対する確信度が低下したと判断した銘柄などを売却し、成長性、キャッシュ創出力などが評価できる銘柄を購入しました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ 個別銘柄選択などがマイナスに影響しベンチマークを下回りました。

## ○ 今後の運用方針

- ・ 株式市況は、新型コロナウイルスの世界的な拡大による影響などから不透明な状況が続く可能性があるとみています。一方で、各国の財政政策や金融政策などにより景気が下支えられ、株式市況は、長期的には概ね堅調に推移すると予想しています。
- ・ 配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に投資していく方針です。健全な財務体質や持続可能なビジネスモデル、積極的な配当政策などの観点から銘柄を選択し、業種、地域にとらわれることなく投資機会を最大限に活かして投資していく方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 5 ( 5 )	% 0.019 (0.019)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	8 ( 8 )	0.032 (0.032)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	12 (12) ( 0 )	0.048 (0.048) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	25	0.099	
期中の平均基準価額は、24,239円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○株式売買比率

(2019年7月23日～2020年7月22日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	8,446,413千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	9,483,129千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.89

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月23日～2020年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 5,608	百万円 559	% 10.0	百万円 4,803	百万円 219	% 4.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COCA-COLA CO/THE	453	715	3,379	361,231	食品・飲料・タバコ	
EATON CORP PLC	—	129	1,214	129,798	資本財	
GENUINE PARTS CO	256	204	1,789	191,325	小売	
HOME DEPOT INC	42	72	1,899	203,054	小売	
HASBRO INC	100	316	2,494	266,678	耐久消費財・アパレル	
INTERNATIONAL PAPER CO	544	406	1,486	158,877	素材	
JOHNSON & JOHNSON	188	154	2,313	247,336	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
LOCKHEED MARTIN CORP	—	76	2,860	305,776	資本財	
MEDTRONIC PLC	185	290	2,808	300,154	ヘルスケア機器・サービス	
3M CO	69	—	—	—	資本財	
M & T BANK CORP	77	136	1,423	152,153	銀行	
PEPSICO INC	99	156	2,107	225,280	食品・飲料・タバコ	
ALTRIA GROUP INC	432	262	1,082	115,719	食品・飲料・タバコ	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	137	178	2,228	238,230	家庭用品・パーソナル用品	
PFIZER INC	516	712	2,614	279,482	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TEXAS INSTRUMENTS INC	115	181	2,462	263,200	半導体・半導体製造装置	
RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	127	181	1,141	122,010	資本財	
US BANCORP	243	385	1,410	150,806	銀行	
WELLS FARGO & CO	276	—	—	—	銀行	
CISCO SYSTEMS INC	447	307	1,444	154,372	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROSOFT CORP	65	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
PAYCHEX INC	146	369	2,708	289,529	ソフトウェア・サービス	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	345	397	3,017	322,542	食品・飲料・タバコ	
ABBVIE INC	257	261	2,544	271,958	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CITIZENS FINANCIAL GROUP	195	360	919	98,333	銀行	
TELUS CORP	748	1,806	3,145	336,244	電気通信サービス	
OTIS WORLDWIDE CORP	—	221	1,295	138,525	資本財	
CARRIER GLOBAL CORP	—	529	1,406	150,353	資本財	
小計	株数・金額	6,071	8,814	51,201	5,472,978	
	銘柄数<比率>	24	25	—	<52.6%>	
(カナダ)				千カナダドル		
ROGERS COMMUNICATIONS INC-B	475	408	2,280	181,237	電気通信サービス	
小計	株数・金額	475	408	2,280	181,237	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.7%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
DEUTSCHE POST AG-REG	684	349	1,242	153,156	運輸	
小計	株数・金額	684	349	1,242	153,156	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.5%>	
(ユーロ…フランス)						
SANOFI	168	256	2,374	292,747	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SCHNEIDER ELECTRIC SE	172	107	1,078	132,932	資本財	
小計	株数・金額	341	363	3,452	425,679	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<4.1%>	
(ユーロ…オランダ)						
UNILEVER NV	336	653	3,105	382,811	家庭用品・パーソナル用品	
HEINEKEN NV	104	222	1,891	233,137	食品・飲料・タバコ	

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
		株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…オランダ) KONINKLIJKE PHILIPS NV	百株 371	百株 364	千ユーロ 1,652	千円 203,686	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	813	1,240	6,648	819,635	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 7.9% >	
(ユーロ…フィンランド) KONE OYJ-B	234	160	1,071	132,085	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	234	160	1,071	132,085	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.3% >	
(ユーロ…イギリス) RELX PLC	371	516	1,019	125,685	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	371	516	1,019	125,685	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.2% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	2,445	2,630	13,434	1,656,242	
	銘柄 数 < 比 率 >	8	8	—	< 15.9% >	
(イギリス) ASTRAZENECA PLC	142	67	千イギリスポンド 612	83,447	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DIAGEO PLC	308	427	1,192	162,302	食品・飲料・タバコ	
BAE SYSTEMS PLC	2,959	3,840	1,902	259,023	資本財	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	—	152	1,185	161,467	家庭用品・パーソナル用品	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	663	727	1,974	268,828	食品・飲料・タバコ	
IMPERIAL BRANDS PLC	939	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
GLAXOSMITHKLINE PLC	1,141	960	1,560	212,400	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小 計	株 数 ・ 金 額	6,154	6,171	8,427	1,147,469	
	銘柄 数 < 比 率 >	6	6	—	< 11.0% >	
(スイス) NESTLE SA-REG	215	194	千スイスフラン 2,107	241,610	食品・飲料・タバコ	
CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG	91	123	750	86,054	耐久消費財・アパレル	
NOVARTIS AG-REG	238	321	2,609	299,097	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SGS SA-REG	3	2	685	78,613	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	549	642	6,154	705,375	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	< 6.8% >	
(スウェーデン) SVENSKA HANDELSBANKEN-A SHS	1,335	—	千スウェーデンクローネ —	—	銀行	
TELE2 AB-B SHS	—	801	10,350	124,831	電気通信サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,335	801	10,350	124,831	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.2% >	
(デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B	275	242	千デンマーククローネ 10,794	178,865	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小 計	株 数 ・ 金 額	275	242	10,794	178,865	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.7% >	
(オーストラリア) SONIC HEALTHCARE LTD	687	780	千オーストラリアドル 2,527	192,653	ヘルスケア機器・サービス	
ANSELL LTD	478	302	1,188	90,609	ヘルスケア機器・サービス	
AMCOR PLC-CDI	2,075	1,738	2,677	204,126	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	3,241	2,821	6,393	487,388	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 4.7% >	
(香港) ANTA SPORTS PRODUCTS LTD	950	—	千香港ドル —	—	耐久消費財・アパレル	
小 計	株 数 ・ 金 額	950	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< —% >	
(シンガポール) DBS GROUP HOLDINGS LTD	651	936	千シンガポールドル 2,003	154,754	銀行	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等
		株数	評 価 額	
		株数	外貨建金額	千円
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円
UNITED OVERSEAS BANK LTD	597	486	1,006	77,725
銀行				
小 計	株数・金額	1,248	1,422	3,009
	銘柄数<比率>	2	2	—
				<2.2%>
(台湾)			千ニュー台湾ドル	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	1,130	710	27,193	98,438
半導体・半導体製造装置				
小 計	株数・金額	1,130	710	27,193
	銘柄数<比率>	1	1	—
				<0.9%>
(インド)			千インドルピー	
HERO MOTOCORP LTD	186	—	—	—
自動車・自動車部品				
小 計	株数・金額	186	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—
				<—%>
合 計	株数・金額	24,063	24,664	—
	銘柄数<比率>	53	52	—
				<98.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 10,285,308	% 98.7
コール・ローン等、その他	135,877	1.3
投資信託財産総額	10,421,185	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (10,306,755千円) の投資信託財産総額 (10,421,185千円) に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.89円	1 カナダドル=79.47円	1 ユーロ=123.28円	1 イギリスポンド=136.15円
1 スイスフラン=114.62円	1 スウェーデンクローネ=12.06円	1 デンマーククローネ=16.57円	1 オーストラリアドル=76.23円
1 シンガポールドル=77.26円	1 ニュー台湾ドル=3.62円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,421,185,888
コール・ローン等	126,639,395
株式(評価額)	10,285,308,269
未収配当金	9,238,224
(B) 負債	11,565,747
未払解約金	11,565,655
未払利息	92
(C) 純資産総額(A-B)	10,409,620,141
元本	4,223,651,806
次期繰越損益金	6,185,968,335
(D) 受益権総口数	4,223,651,806口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,646円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,862,229,167円  
 期中追加設定元本額 641,778,425円  
 期中一部解約元本額 280,355,786円  
 また、1口当たり純資産額は、期末24,646円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ <DC>海外株式オープン	3,380,209,533円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	661,748,757円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	65,120,732円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 60型	40,207,065円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	39,668,540円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 40型	26,399,483円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 20型	6,501,950円
三菱UFJ グローバルバランスVA	3,795,746円
合計	4,223,651,806円

○損益の状況 (2019年7月23日~2020年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	299,493,259
受取配当金	298,510,654
受取利息	595,642
その他収益金	430,534
支払利息	△ 43,571
(B) 有価証券売買損益	△ 197,318,741
売買益	967,208,342
売買損	△1,164,527,083
(C) 保管費用等	△ 4,672,072
(D) 当期損益金(A+B+C)	97,502,446
(E) 前期繰越損益金	5,630,189,493
(F) 追加信託差損益金	843,799,539
(G) 解約差損益金	△ 385,523,143
(H) 計(D+E+F+G)	6,185,968,335
次期繰越損益金(H)	6,185,968,335

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 日本債券マザーファンド

### 《第22期》決算日2020年7月22日

[計算期間：2019年7月23日～2020年7月22日]

「日本債券マザーファンド」は、7月22日に第22期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		NOMURA-BPI総合		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
18期(2016年7月22日)	14,888	8.2	390.11	7.3	98.3	—	9,652
19期(2017年7月24日)	14,494	△2.6	378.70	△2.9	98.3	—	9,297
20期(2018年7月23日)	14,600	0.7	381.25	0.7	97.9	—	8,277
21期(2019年7月22日)	15,071	3.2	392.34	2.9	95.4	—	8,253
22期(2020年7月22日)	14,876	△1.3	387.22	△1.3	96.2	—	8,265

(注) NOMURA-BPI総合とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 総 合		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	率	騰 落 率	率		
(期 首) 2019年7月22日	円	%		%	%	%
	15,071	—	392.34	—	95.4	—
7月末	15,105	0.2	393.15	0.2	96.1	—
8月末	15,314	1.6	398.50	1.6	97.4	—
9月末	15,137	0.4	394.27	0.5	96.4	—
10月末	15,086	0.1	392.61	0.1	96.7	—
11月末	15,041	△0.2	391.33	△0.3	97.6	—
12月末	15,006	△0.4	390.14	△0.6	98.2	—
2020年1月末	15,073	0.0	391.77	△0.1	98.4	—
2月末	15,192	0.8	394.74	0.6	98.2	—
3月末	14,907	△1.1	388.45	△1.0	97.0	—
4月末	14,961	△0.7	389.79	△0.7	97.0	—
5月末	14,901	△1.1	388.13	△1.1	96.7	—
6月末	14,845	△1.5	386.56	△1.5	96.8	—
(期 末) 2020年7月22日	円	%		%	%	%
	14,876	△1.3	387.22	△1.3	96.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.3%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−1.3%)とほぼ同程度となりました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

(下落要因)

国内金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## ● 投資環境について

## ◎ 国内債券市況

- ・国内金利は上昇しました。
- ・国内金利は2019年9月初旬にかけて、米中通商協議に対する不透明感の強まりや、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和観測の高まりなどから、低下しました。その後は、日銀による政策金利引き下げ観測の後退や、大型補正予算に伴う国債増発による需給悪化懸念などを背景に、国内金利は上昇しました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については中立を基本に調整しましたが、2019年10月上旬から11月末にかけての期間は日銀による国債買入れオペの運営に不透明感が高まったと判断し、ベンチマーク対比短めとしました。年限別構成については、中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しましたが、デュレーションを短めとした期間については超長期ゾーンをベンチマーク並みとしました。
- ・債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債のスプレッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的にスプレッド妙味のある事業債および円建外債のオーバーウェイト、スプレッド妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異について（プラス要因）

## ◎ デュレーション

- ・2019年10月上旬から11月末にかけての金利上昇局面においてデュレーションを短くしたこと。

## ◎ 年限別構成

- ・2019年12月から2020年2月末にかけてパフォーマンスの優れた超長期ゾーンをオーバーウェイトとしたこと。

## ◎ 債券種別構成

- ・2020年2月末までパフォーマンスの優れた円建外債のオーバーウェイトを維持したこと。

(マイナス要因)

## ◎ 年限別構成

- ・2020年2月末から期末にかけてパフォーマンスの劣化した超長期ゾーンのオーバーウェイトを維持したこと。

## ◎ 債券種別構成

- ・2020年2月末から4月末にかけて、スプレッドが大幅に拡大した円建外債のオーバーウェイトを維持したこと。

## ○ 今後の運用方針

- ・安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。
- ・ファンド全体のデュレーションは、当面ベンチマーク対比中立を基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。
- ・債券種別構成については、事業債および円建外債をベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、15,020円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年7月23日～2020年7月22日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	2,095,877	1,732,073
	社債券	2,103,799	2,212,154

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月23日～2020年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,199	百万円 1,060	% 25.2	百万円 3,944	百万円 1,011	% 25.6

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
公社債	百万円 300	百万円 403	百万円 298

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
公社債	百万円 1,200

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJリース、アコムです。

## ○組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	4,290,000	4,956,091	60.0	—	58.0	2.0	—	
普通社債券	3,000,000	2,997,306	36.3	—	—	28.9	7.3	
	(2,800,000)	(2,797,170)	(33.8)	(—)	(—)	(27.7)	(6.1)	
合 計	7,290,000	7,953,397	96.2	—	58.0	30.9	7.3	
	(2,800,000)	(2,797,170)	(33.8)	(—)	(—)	(27.7)	(6.1)	

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期		末		償還年月日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	額	
<b>国債証券</b>	%	千円	千円		
第142回利付国債 (5年)	0.1	160,000	161,664		2024/12/20
第5回利付国債 (40年)	2.0	70,000	98,823		2052/3/20
第7回利付国債 (40年)	1.7	50,000	67,087		2054/3/20
第10回利付国債 (40年)	0.9	40,000	44,135		2057/3/20
第11回利付国債 (40年)	0.8	40,000	42,851		2058/3/20
第350回利付国債 (10年)	0.1	40,000	40,647		2028/3/20
第351回利付国債 (10年)	0.1	40,000	40,636		2028/6/20
第352回利付国債 (10年)	0.1	80,000	81,214		2028/9/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	270,000	273,634		2029/3/20
第356回利付国債 (10年)	0.1	70,000	70,834		2029/9/20
第357回利付国債 (10年)	0.1	10,000	10,108		2029/12/20
第23回利付国債 (30年)	2.5	50,000	67,202		2036/6/20
第26回利付国債 (30年)	2.4	30,000	40,147		2037/3/20
第27回利付国債 (30年)	2.5	10,000	13,621		2037/9/20
第28回利付国債 (30年)	2.5	30,000	41,061		2038/3/20
第29回利付国債 (30年)	2.4	20,000	27,159		2038/9/20
第30回利付国債 (30年)	2.3	40,000	53,841		2039/3/20
第31回利付国債 (30年)	2.2	20,000	26,688		2039/9/20
第32回利付国債 (30年)	2.3	40,000	54,388		2040/3/20
第33回利付国債 (30年)	2.0	20,000	26,137		2040/9/20
第34回利付国債 (30年)	2.2	50,000	67,550		2041/3/20
第36回利付国債 (30年)	2.0	60,000	79,203		2042/3/20
第37回利付国債 (30年)	1.9	40,000	52,155		2042/9/20
第38回利付国債 (30年)	1.8	10,000	12,867		2043/3/20
第39回利付国債 (30年)	1.9	50,000	65,526		2043/6/20
第42回利付国債 (30年)	1.7	70,000	88,985		2044/3/20
第44回利付国債 (30年)	1.7	20,000	25,473		2044/9/20
第46回利付国債 (30年)	1.5	50,000	61,579		2045/3/20
第47回利付国債 (30年)	1.6	30,000	37,682		2045/6/20
第49回利付国債 (30年)	1.4	30,000	36,330		2045/12/20
第50回利付国債 (30年)	0.8	50,000	53,409		2046/3/20
第53回利付国債 (30年)	0.6	20,000	20,347		2046/12/20
第54回利付国債 (30年)	0.8	80,000	85,341		2047/3/20
第58回利付国債 (30年)	0.8	110,000	117,161		2048/3/20
第60回利付国債 (30年)	0.9	70,000	76,344		2048/9/20
第61回利付国債 (30年)	0.7	30,000	31,143		2048/12/20
第99回利付国債 (20年)	2.1	100,000	116,531		2027/12/20
第100回利付国債 (20年)	2.2	60,000	70,660		2028/3/20
第103回利付国債 (20年)	2.3	40,000	47,624		2028/6/20
第105回利付国債 (20年)	2.1	80,000	94,308		2028/9/20
第108回利付国債 (20年)	1.9	30,000	34,978		2028/12/20
第110回利付国債 (20年)	2.1	40,000	47,468		2029/3/20
第111回利付国債 (20年)	2.2	40,000	48,001		2029/6/20
第113回利付国債 (20年)	2.1	50,000	59,772		2029/9/20
第114回利付国債 (20年)	2.1	70,000	83,936		2029/12/20

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>		%	千円	千円	
第116回	利付国債 (20年)	2.2	50,000	60,640	2030/3/20
第118回	利付国債 (20年)	2.0	50,000	59,839	2030/6/20
第121回	利付国債 (20年)	1.9	30,000	35,713	2030/9/20
第123回	利付国債 (20年)	2.1	50,000	60,699	2030/12/20
第125回	利付国債 (20年)	2.2	60,000	73,699	2031/3/20
第128回	利付国債 (20年)	1.9	100,000	119,923	2031/6/20
第130回	利付国債 (20年)	1.8	40,000	47,656	2031/9/20
第132回	利付国債 (20年)	1.7	50,000	59,150	2031/12/20
第136回	利付国債 (20年)	1.6	90,000	105,602	2032/3/20
第137回	利付国債 (20年)	1.7	50,000	59,372	2032/6/20
第140回	利付国債 (20年)	1.7	50,000	59,461	2032/9/20
第141回	利付国債 (20年)	1.7	60,000	71,495	2032/12/20
第143回	利付国債 (20年)	1.6	100,000	118,142	2033/3/20
第145回	利付国債 (20年)	1.7	50,000	59,806	2033/6/20
第146回	利付国債 (20年)	1.7	80,000	95,867	2033/9/20
第147回	利付国債 (20年)	1.6	40,000	47,494	2033/12/20
第148回	利付国債 (20年)	1.5	30,000	35,274	2034/3/20
第149回	利付国債 (20年)	1.5	80,000	94,190	2034/6/20
第150回	利付国債 (20年)	1.4	80,000	93,210	2034/9/20
第152回	利付国債 (20年)	1.2	90,000	102,514	2035/3/20
第153回	利付国債 (20年)	1.3	60,000	69,247	2035/6/20
第154回	利付国債 (20年)	1.2	90,000	102,630	2035/9/20
第155回	利付国債 (20年)	1.0	60,000	66,623	2035/12/20
第158回	利付国債 (20年)	0.5	60,000	61,943	2036/9/20
第159回	利付国債 (20年)	0.6	70,000	73,282	2036/12/20
第160回	利付国債 (20年)	0.7	60,000	63,754	2037/3/20
第162回	利付国債 (20年)	0.6	100,000	104,552	2037/9/20
第164回	利付国債 (20年)	0.5	10,000	10,266	2038/3/20
第166回	利付国債 (20年)	0.7	130,000	137,764	2038/9/20
第172回	利付国債 (20年)	0.4	10,000	10,009	2040/3/20
小 計			4,290,000	4,956,091	
<b>普通社債券</b>					
第482回	九州電力	0.17	100,000	99,979	2024/8/23
第16回	Zホールディングス	0.6	100,000	100,151	2025/6/11
第15回	パナソニック	0.19	100,000	100,112	2021/9/17
第34回	ソニー	0.13	100,000	99,229	2024/10/10
第43回	I H I	0.2	100,000	99,378	2024/10/17
第15回	J A 三井リース	0.22	100,000	99,297	2025/1/24
第1回	回明治安田生命2017基金	0.35	100,000	99,589	2022/8/4
第1回	回日本生命2019基金	0.25	100,000	98,997	2024/8/1
第1回	回明治安田生命2019基金	0.29	100,000	98,959	2024/8/2
第1回	回楽天カード	0.14	100,000	99,645	2022/12/12
第1回	回みずほフィナンシャルグループ	0.95	100,000	101,345	2024/7/16
第20回	回みずほ銀行 (劣後特約付)	1.49	200,000	204,590	2022/6/3
第22回	回芙蓉総合リース	0.04	100,000	99,595	2022/10/28
第91回	回トヨタファイナンス	0.19	100,000	100,046	2023/4/27

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券	%	千円	千円	
第5回イオンフィナンシャルサービス	0.23	100,000	99,965	2022/5/27
第7回イオンフィナンシャルサービス	0.19	100,000	99,554	2023/3/20
第75回アコム	0.309	100,000	100,025	2023/2/28
第79回アコム	0.29	100,000	98,861	2025/2/28
第74回三菱UFJリース	0.09	100,000	99,815	2023/1/23
第1回野村ホールディングス	0.3	100,000	99,771	2023/9/4
第2回ソフトバンク	0.33	100,000	99,664	2025/3/18
第23回フランス相互信用連合銀行	0.217	100,000	99,117	2022/10/12
第3回マラヤン・バンキング (2019)	0.27	100,000	99,977	2022/5/20
第6回マラヤン・バンキング	0.224	200,000	198,794	2023/2/13
第1回パークレイズ・ビーエルシー期限前償還条項付	1.232	100,000	100,413	2024/9/25
第3回ソシエテ ジェネラル円貨社債 (2018)	0.804	100,000	100,302	2023/10/12
NATWEST MARKETS	0.737	100,000	100,050	2022/7/4
UBS GROUP FUNDING (SWITZERLAND)	0.719	100,000	100,086	2024/11/8
小 計		3,000,000	2,997,306	
合 計		7,290,000	7,953,397	

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	7,953,397	96.1
コール・ローン等、その他	318,916	3.9
投資信託財産総額	8,272,313	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,272,313,007
コール・ローン等	301,496,263
公社債(評価額)	7,953,397,200
未収利息	17,010,352
前払費用	409,192
(B) 負債	6,664,950
未払解約金	6,664,707
未払利息	243
(C) 純資産総額(A-B)	8,265,648,057
元本	5,556,323,943
次期繰越損益金	2,709,324,114
(D) 受益権総口数	5,556,323,943口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,876円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 5,476,637,184円  
期中追加設定元本額 1,147,879,228円  
期中一部解約元本額 1,068,192,469円  
また、1口当たり純資産額は、期末14,876円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	2,098,562,856円
三菱UFJ <DC>日本債券ファンド	1,341,102,160円
三菱UFJ 国内バランス20	1,154,658,026円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	271,428,133円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス40型	179,418,043円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	172,219,397円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス20型	151,572,578円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス60型	104,531,312円
三菱UFJ 日本債券ファンドF(適格機関投資家限定)	57,632,946円
三菱UFJ グローバルバランスVA	25,198,492円
合計	5,556,323,943円

## ○損益の状況 (2019年7月23日~2020年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	70,683,843
受取利息	70,787,138
支払利息	△ 103,295
(B) 有価証券売買損益	△ 173,841,000
売買益	5,483,100
売買損	△ 179,324,100
(C) 保管費用等	△ 39,975
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 103,197,132
(E) 前期繰越損益金	2,777,253,950
(F) 追加信託差損益金	575,531,752
(G) 解約差損益金	△ 540,264,456
(H) 計(D+E+F+G)	2,709,324,114
次期繰越損益金(H)	2,709,324,114

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

### 《第20期》決算日2019年12月16日

〔計算期間：2018年12月18日～2019年12月16日〕

「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」は、12月16日に第20期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。</p> <p>運用にあたっては、各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得をめざします。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。</p> <p>組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。</p> <p>公社債の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。</p> <p>（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）</p>
主要運用対象	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率	(除く日本・円ベース)	期 騰 落 中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
16期(2015年12月15日)	29,974	△1.8	465.14	△3.0	97.6	—	54,634
17期(2016年12月15日)	28,595	△4.6	438.85	△5.7	97.6	—	45,623
18期(2017年12月15日)	29,913	4.6	462.75	5.4	97.5	—	44,779
19期(2018年12月17日)	29,150	△2.6	453.56	△2.0	96.4	—	45,158
20期(2019年12月16日)	30,690	5.3	472.22	4.1	95.6	—	44,475

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2018年12月17日	円 29,150	% —	453.56	% —	% 96.4	% —
12月末	28,862	△1.0	447.21	△1.4	97.7	—
2019年1月末	28,753	△1.4	447.56	△1.3	98.4	—
2月末	29,169	0.1	452.77	△0.2	98.4	—
3月末	29,572	1.4	456.98	0.8	98.0	—
4月末	29,512	1.2	456.10	0.6	98.3	—
5月末	29,322	0.6	455.64	0.5	98.3	—
6月末	29,759	2.1	459.55	1.3	98.2	—
7月末	29,874	2.5	460.69	1.6	94.4	—
8月末	30,081	3.2	464.28	2.4	97.6	—
9月末	30,283	3.9	467.48	3.1	98.6	—
10月末	30,571	4.9	470.06	3.6	97.7	—
11月末	30,549	4.8	470.90	3.8	98.3	—
(期 末) 2019年12月16日	30,690	5.3	472.22	4.1	95.6	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

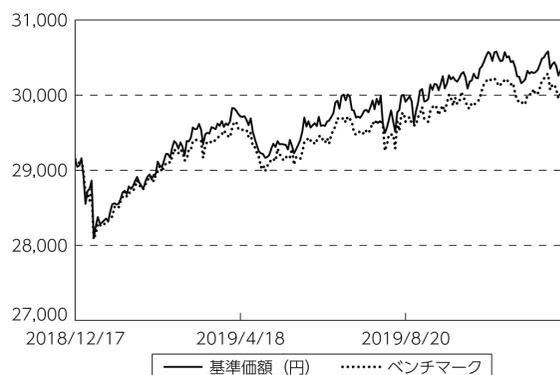
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.3%の上昇となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(4.1%)を1.2%上回りました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

## (上昇要因)

欧米金利が低下したことや債券利子収入を享受したこと、英ポンドやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## (下落要因)

米ドルやユーロが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ● 投資環境について

## ◎ 海外債券市況

- ・ 欧米長期金利は低下しました。
- ・ 期首から2019年8月下旬にかけて、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国の欧州連合（EU）離脱への不透明感、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和観測の高まりなどから、欧米長期金利は低下しました。その後、米中貿易摩擦や英国のEUからの合意なき離脱に対する懸念が後退し、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから欧米長期金利は上昇しました。結果、期を通じてみると、欧米長期金利は低下しました。

## ◎ 為替市況

- ・ 米ドル・ユーロは対円で下落しました。
- ・ 期首から2019年8月下旬にかけては、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国のEU離脱への不透明感などにより、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどを受けて、米ドル・ユーロは対円で下落しました。その後、米中貿易摩擦や英国のEUからの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから米ドル・ユーロは上昇しました。期を通じてみると、米ドル・ユーロは対円で下落しました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ 中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざします。
- ・ わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。
- ・ 債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、米国の債券デュレーションはベンチマーク比中立で維持、欧州はECBによる緩和的な金融政策の更なる継続を見込み、期を通じて同中立から長めでコントロールしました。
- ・ 欧州においては、期を通じてスペインをベンチマーク比オーバーウェイトで維持、イタリア、ベルギーは同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。フランスは期を通じて同アンダーウェイトで維持し、ドイツ、オランダは同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。
- ・ カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは期首から2019年4月にかけてベンチマーク比中立からアンダーウェイトでコントロールし、その後12月上旬まで同中立からオーバーウェイトでコントロール、12月中旬に同アンダーウェイトに変更しました。ユーロは期首から4月下旬まで同オーバーウェイトとし、その後は同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。英ポンドは期首から10月まで同中立からアンダーウェイトでコントロールし、11月上旬から同オーバーウェイトに変更しました。カナダドル、メキシコペソ、ノルウェークローネは期を通じて同中立からオーバーウェイト、豪ドル、南アフリカランドは期を通じて同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について  
(プラス要因)

- ・金利低下局面で、欧州のデュレーションをベンチマーク比長めで維持したことなどがプラス要因となりました。
- ・スペイン、イタリアをベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがプラス要因となりました。

(マイナス要因)

- ・ノルウェークローネをベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがマイナス要因となりました。

○今後の運用方針

- ・金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年12月18日～2019年12月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.020	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	6	0.020	
期中の平均基準価額は、29,658円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年12月18日～2019年12月16日)

## 公社債

		買付額	売付額
外	アメリカ	千アメリカドル 94,288	千アメリカドル 105,243
	カナダ	千カナダドル 21,110	千カナダドル 31,800
	メキシコ	千メキシコペソ 384,143	千メキシコペソ 204,394
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券 19,141	32,534
	イタリア	国債証券 32,405	48,355
	フランス	国債証券 11,330	—
	オランダ	国債証券 1,053	7,226
	スペイン	国債証券 30,524	30,622
	ベルギー	国債証券 10,294	13,805
	アイルランド	国債証券 8,134	—
	イギリス	国債証券 28,774	千イギリスポンド 25,667 ( 1,000)
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ — 2,205
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 151,931 156,168
国	ポーランド	国債証券 1,582	千ポーランドズロチ 1,684
	オーストラリア	国債証券 11,897	千オーストラリアドル 242
	シンガポール	国債証券 118	千シンガポールドル —
	マレーシア	国債証券 3,641	千マレーシアリンギット —
	南アフリカ	国債証券 84,472	千南アフリカランド 81,911

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年12月18日～2019年12月16日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 21,973	百万円 3,631	% 16.5	百万円 24,925	百万円 3,926	% 15.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年12月16日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 162,600	千アメリカドル 173,060	千円 18,938,002	% 42.6	% —	% 19.1	% 16.1	% 7.3
カナダ	千カナダドル 9,800	千カナダドル 9,967	827,671	1.9	—	1.9	—	—
メキシコ	千メキシコペソ 255,000	千メキシコペソ 259,479	1,492,009	3.4	—	3.1	0.3	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	10,500	11,162	1,358,925	3.1	—	2.2	—	0.8
イタリア	30,000	33,880	4,124,622	9.3	—	2.6	6.7	—
フランス	23,000	25,201	3,068,056	6.9	—	2.7	2.8	1.4
オランダ	1,000	1,080	131,510	0.3	—	0.3	—	—
スペイン	34,000	41,455	5,046,776	11.3	—	11.3	—	—
ベルギー	7,500	8,467	1,030,810	2.3	—	2.3	—	—
アイルランド	10,500	11,814	1,438,273	3.2	—	3.2	—	—
イギリス	千イギリスポンド 17,100	千イギリスポンド 22,574	3,298,878	7.4	—	7.4	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 11,000	千スウェーデンクローネ 12,253	142,880	0.3	—	0.2	0.1	0.1
ノルウェー	千ノルウェークローネ 4,000	千ノルウェークローネ 4,089	49,528	0.1	—	0.1	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 8,000	千ポーランドズロチ 8,726	248,003	0.6	—	0.3	0.2	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 10,600	千オーストラリアドル 11,580	871,669	2.0	—	2.0	—	—
シンガポール	千シンガポールドル 1,700	千シンガポールドル 1,906	154,092	0.3	—	0.3	—	—
マレーシア	千マレーシアリンギット 10,500	千マレーシアリンギット 10,951	289,230	0.7	—	0.5	0.2	—
南アフリカ	千南アフリカランド 1,000	千南アフリカランド 840	6,333	0.0	—	0.0	—	—
合 計	—	—	42,517,277	95.6	—	59.6	26.4	9.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
国債証券	1.625 T-NOTE 260215	1.625	8,000	7,953	870,310	2026/2/15	
	1.75 T-NOTE 230515	1.75	14,000	14,054	1,538,004	2023/5/15	
	2 T-NOTE 221031	2.0	20,000	20,212	2,211,853	2022/10/31	
	2 T-NOTE 250815	2.0	17,000	17,258	1,888,650	2025/8/15	
	2.25 T-NOTE 210430	2.25	17,000	17,137	1,875,352	2021/4/30	
	2.5 T-NOTE 210131	2.5	7,500	7,570	828,387	2021/1/31	
	2.625 T-NOTE 290215	2.625	16,100	17,204	1,882,673	2029/2/15	
	2.75 T-NOTE 240215	2.75	26,000	27,135	2,969,434	2024/2/15	
	2.875 T-BOND 490515	2.875	6,000	6,806	744,807	2049/5/15	
	3.125 T-BOND 430215	3.125	4,000	4,646	508,473	2043/2/15	
	3.125 T-BOND 440815	3.125	2,000	2,333	255,399	2044/8/15	
	3.875 T-BOND 400815	3.875	7,000	9,009	985,938	2040/8/15	
	4.5 T-BOND 360215	4.5	4,000	5,390	589,930	2036/2/15	
	4.75 T-BOND 410215	4.75	5,000	7,199	787,810	2041/2/15	
特殊債券	1.625 BK NEDERLAN 210419	1.625	5,000	4,989	546,000	2021/4/19	
普通社債券	3.875 COOPERATIEV 220208	3.875	4,000	4,157	454,975	2022/2/8	
小 計					18,938,002		
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	1.5 CAN GOVT 260601	1.5	6,300	6,263	520,102	2026/6/1	
	2.25 CAN GOVT 290601	2.25	3,500	3,703	307,569	2029/6/1	
小 計					827,671		
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	10,000	11,391	65,499	2024/12/5	
	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	100,000	95,038	546,468	2026/3/5	
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	10,000	9,959	57,269	2022/6/9	
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	110,000	114,466	658,179	2027/6/3	
	8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	25,000	28,624	164,592	2038/11/18	
小 計					1,492,009		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	0 SCHATS 200612	—	3,000	3,009	366,393	2020/6/12
		0.25 BUND 280815	0.25	6,500	6,856	834,711	2028/8/15
		1.25 BUND 480815	1.25	1,000	1,296	157,820	2048/8/15
イタリア	国債証券	0.95 ITALY GOVT 230301	0.95	3,000	3,074	374,309	2023/3/1
		1.75 ITALY GOVT 240701	1.75	4,000	4,230	515,050	2024/7/1
		1.85 ITALY GOVT 240515	1.85	16,000	17,006	2,070,394	2024/5/15
		3.85 ITALY GOVT 490901	3.85	3,000	3,985	485,156	2049/9/1
		4.75 ITALY GOVT 280901	4.75	2,000	2,613	318,170	2028/9/1
		5 ITALY GOVT 400901	5.0	2,000	2,969	361,541	2040/9/1
フランス	国債証券	0 O. A. T 230325	—	10,000	10,193	1,240,934	2023/3/25
		1.25 O. A. T 360525	1.25	4,000	4,560	555,247	2036/5/25
		2 O. A. T 480525	2.0	4,000	5,310	646,557	2048/5/25
	普通社債券	2.25 BNP PARIBAS 210113	2.25	5,000	5,136	625,316	2021/1/13
オランダ	国債証券	0.75 NETH GOVT 270715	0.75	1,000	1,080	131,510	2027/7/15
スペイン	国債証券	1.95 SPAIN GOVT 260430	1.95	18,000	20,142	2,452,135	2026/4/30

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
スペイン	国債証券	2.35 SPAIN GOVT 330730	2.35	9,000	10,950	1,333,139	2033/7/30
		4.9 SPAIN GOVT 400730	4.9	2,000	3,456	420,744	2040/7/30
		5.9 SPAIN GOVT 260730	5.9	5,000	6,906	840,756	2026/7/30
ベルギー	国債証券	0.9 BEL GOVT 290622	0.9	5,800	6,309	768,146	2029/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	700	854	103,998	2047/6/22
		4.5 BEL GOVT 260328	4.5	1,000	1,303	158,665	2026/3/28
アイルランド	国債証券	1 IRISH GOVT 260515	1.0	5,000	5,394	656,705	2026/5/15
		1.1 IRISH GOVT 290515	1.1	3,500	3,863	470,360	2029/5/15
		2 IRISH GOVT 450218	2.0	1,000	1,313	159,886	2045/2/18
		2.4 IRISH GOVT 300515	2.4	1,000	1,242	151,321	2030/5/15
小 計						16,198,976	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	0.875 GILT 291022	0.875	7,100	7,159	1,046,238	2029/10/22
		1.75 GILT 490122	1.75	500	556	81,324	2049/1/22
		4.25 GILT 320607	4.25	4,500	6,256	914,306	2032/6/7
		4.25 GILT 551207	4.25	3,000	5,678	829,842	2055/12/7
		6 GILT 281207	6.0	2,000	2,923	427,167	2028/12/7
		小 計					
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	1 SWD GOVT 261112	1.0	4,000	4,311	50,271	2026/11/12
		1.5 SWD GOVT 231113	1.5	4,000	4,279	49,903	2023/11/13
		3.5 SWD GOVT 390330	3.5	1,000	1,560	18,194	2039/3/30
		5 SWD GOVT 201201	5.0	2,000	2,102	24,511	2020/12/1
		小 計					
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	1.75 NORWE GOVT 250313	1.75	4,000	4,089	49,528	2025/3/13
小 計						49,528	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	3.25 POLAND 250725	3.25	4,500	4,831	137,323	2025/7/25
		5.75 POLAND 220923	5.75	3,500	3,894	110,680	2022/9/23
小 計						248,003	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	8,000	8,669	652,532	2028/5/21
		2.75 AUST GOVT 271121	2.75	2,600	2,911	219,137	2027/11/21
小 計						871,669	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	2.75 SINGAPORGV 460301	2.75	100	112	9,087	2046/3/1
		3.5 SINGAPORGV 270301	3.5	1,600	1,794	145,005	2027/3/1
小 計						154,092	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.882 MALAYSIAGOV 220310	3.882	3,000	3,053	80,648	2022/3/10
		3.885 MALAYSIAGOV 290815	3.885	3,000	3,106	82,039	2029/8/15
		3.9 MALAYSIAGOV 261130	3.9	3,000	3,097	81,795	2026/11/30
		4.935 MALAYSIAGOV 430930	4.935	1,500	1,694	44,746	2043/9/30
小 計						289,230	

銘柄	当 期 末				償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
南アフリカ 国債証券 7 SOUTH AFRICA 310228	%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	
小 計	7.0	1,000	840	6,333	2031/2/28
合 計				6,333	
				42,517,277	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年12月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 42,517,277	% 89.0
コール・ローン等、その他	5,228,357	11.0
投資信託財産総額	47,745,634	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（44,303,366千円）の投資信託財産総額（47,745,634千円）に対する比率は92.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.43円	1 カナダドル=83.04円	1 メキシコペソ=5.75円	1 ユーロ=121.74円
1 イギリスポンド=146.13円	1 スウェーデンクローネ=11.66円	1 ノルウェークローネ=12.11円	1 ポーランドズロチ=28.42円
1 オーストラリアドル=75.27円	1 シンガポールドル=80.81円	1 マレーシアリングット=26.41円	1 南アフリカランド=7.54円

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年12月16日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	55,027,421,589
コール・ローン等	506,707,843
公社債(評価額)	42,517,277,962
未収入金	11,696,133,688
未収利息	284,587,113
前払費用	22,714,983
(B) 負債	10,551,945,140
未払金	10,370,092,125
未払解約金	181,852,500
未払利息	515
(C) 純資産総額(A-B)	44,475,476,449
元本	14,491,789,760
次期繰越損益金	29,983,686,689
(D) 受益権総口数	14,491,789,760口
1万口当たり基準価額(C/D)	30,690円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 15,492,160,023円  
 期中追加設定元本額 1,174,657,581円  
 期中一部解約元本額 2,175,027,844円  
 また、1口当たり純資産額は、期末3,0690円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ バランスインカムオープン(毎月決算型)	4,151,685,502円
三菱UFJ 海外債券オープン	4,025,843,280円
三菱UFJ 海外債券オープン(3ヵ月決算型)	3,650,372,568円
三菱UFJ 国際海外債券オープン(適格機関投資家限定)	1,401,212,145円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	500,676,741円
三菱UFJ 世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	327,809,756円
三菱UFJ 海外債券オープンVA(適格機関投資家限定)	78,585,835円
三菱UFJ 世界バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	76,107,756円
三菱UFJ ライフプラン50	49,426,182円
三菱UFJ ライフプラン50VA(適格機関投資家限定)	27,229,571円
三菱UFJ ライフプラン25	24,782,961円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	24,190,859円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	19,682,674円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス60型	15,035,112円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定成長型)	14,131,262円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス40型	12,822,030円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーファンド2030	12,362,795円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーファンド2040	11,280,028円
三菱UFJ ライフプラン75	11,160,598円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)	11,135,907円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(成長型)	8,112,654円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定型)	7,691,608円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス20型	6,749,528円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)	6,070,918円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(積極型)	4,892,948円

## ○損益の状況 (2018年12月18日~2019年12月16日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	1,020,555,630
受取利息	1,021,434,948
支払利息	△ 879,318
(B) 有価証券売買損益	1,147,026,209
売買益	3,348,983,615
売買損	△ 2,201,957,406
(C) 保管費用等	△ 8,660,032
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,158,921,807
(E) 前期繰越損益金	29,666,748,227
(F) 追加信託差損益金	2,325,271,598
(G) 解約差損益金	△ 4,167,254,943
(H) 計(D+E+F+G)	29,983,686,689
次期繰越損益金(H)	29,983,686,689

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド (積極型)	3,996,467円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド (成長型)	3,657,894円
三菱UFJ グローバルバランスVA	1,804,095円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	1,252,759円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2040	1,024,804円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	936,541円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	65,982円
合計	14,491,789,760円

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第31期》決算日2020年5月20日

[計算期間：2019年11月21日～2020年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第31期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第31期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	率					
27期(2018年5月21日)	10,184		0.0		%		—	百万円 1,269
28期(2018年11月20日)	10,183		△0.0		—		—	1,882
29期(2019年5月20日)	10,183		0.0		—		—	1,464
30期(2019年11月20日)	10,183		0.0		—		—	1,636
31期(2020年5月20日)	10,182		△0.0		—		—	1,218

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2019年11月20日	10,183		—		%		—
11月末	10,183		0.0		—		—
12月末	10,183		0.0		—		—
2020年1月末	10,183		0.0		—		—
2月末	10,183		0.0		—		—
3月末	10,182		△0.0		—		—
4月末	10,182		△0.0		—		—
(期末) 2020年5月20日	10,182		△0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

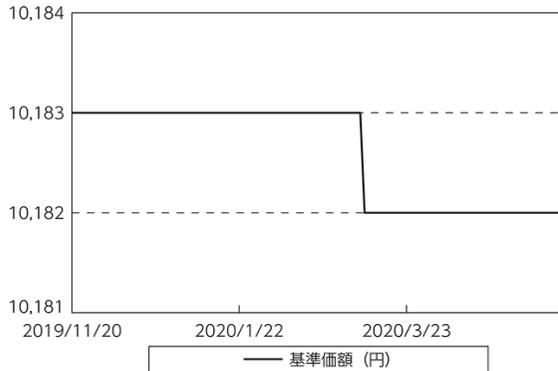
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年5月20日のコール・レートは-0.061%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

## ○今後の運用方針

- ・消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年5月20日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年5月20日)

## その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 138,499,925	千円 138,899,927

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年5月20日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 999,999	% 82.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 999,999	% 82.1
コール・ローン等、その他	218,249	17.9
投資信託財産総額	1,218,248	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,218,248,165
コール・ローン等	218,248,275
其他有価証券(評価額)	999,999,890
(B) 負債	648
未払解約金	244
未払利息	404
(C) 純資産総額(A-B)	1,218,247,517
元本	1,196,430,567
次期繰越損益金	21,816,950
(D) 受益権総口数	1,196,430,567口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,182円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,607,027,396円  
 期中追加設定元本額 383,379,179円  
 期中一部解約元本額 793,976,008円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0182円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	369,410,948円
MUAMトピックスリスクコントロール(10%)インデックスファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	185,063,976円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーパブルファンド>	79,936,815円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーパブルファンド>	75,057,997円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーパブルファンドA>	41,587,343円
三菱UFJ ターゲット・イヤール・ファンド2030(確定拠出年金)	40,467,267円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	20,075,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	16,341,949円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	15,671,669円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	14,313,901円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	11,916,657円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	11,293,333円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	10,781,250円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	10,766,608円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	10,715,809円
マネーパブルファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	9,902,808円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	9,387,547円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,859,081円
MUAMトピックスリスクコントロール(5%)インデックスファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	8,806,711円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	8,478,079円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	8,067,104円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)	6,879,079円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	6,643,326円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	6,336,371円

○損益の状況 (2019年11月21日~2020年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 25,344
受取利息	4,494
支払利息	△ 29,838
(B) 当期損益金(A)	△ 25,344
(C) 前期繰越損益金	29,362,496
(D) 追加信託差損益金	6,993,681
(E) 解約差損益金	△14,513,883
(F) 計(B+C+D+E)	21,816,950
次期繰越損益金(F)	21,816,950

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ /AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)	5,548,198円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアループルコース> (毎月分配型)	5,114,733円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	5,056,177円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	4,489,124円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	4,349,768円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,899,063円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,857,128円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,683,862円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,517,041円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	3,511,426円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	3,308,438円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,156,977円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,542,269円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	2,308,140円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド (毎月決算型)	2,280,337円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	2,259,287円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,016,707円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	1,528,278円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,491,640円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	1,378,553円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	1,355,335円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	1,171,788円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,038,788円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)	1,033,322円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	1,027,136円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	990,662円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	845,131円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	796,426円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	792,001円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	667,045円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	642,729円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	640,555円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	521,466円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	521,457円

三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	490,224円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	379,197円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	358,088円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	354,513円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	345,928円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	284,008円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	278,281円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	266,153円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	215,434円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212,322円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	167,632円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	138,394円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	132,542円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	123,415円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88,852円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	82,770円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	50,073円
テンプレートン新興国小型株ファンド	49,097円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	30,438円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	10,814円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
合計	1,196,430,567円